

帰ってきた

広報ほらど



2008関市ほらどキウイマラソン大会
地域みんなのちからでつくり上げました



2009年も地域力を結集して
“ほらど”を盛り上げよう!!



CONTENTS

- ◆『洞戸まちづくり委員会』発足のご報告 … 2
- ◆洞戸ネットサロン情報…………… 3
- ◆K S Cアルバム…………… 4
- ◆K S Cトピックス…………… 5
- ◆支部社協合同視察研修を開催…………… 6
- ◆いきいきサロンだより…………… 7
- ◆市政だより 関市議会議員・林 修美 …… 8



第3号

2009年1月1日
発行

『洞戸まちづくり委員会』発足のご報告

洞戸地域において、洞戸地域全体のまちづくりを担う諸団体、個人が結束連携し、地域に必要な事業の展開を図ることで、まちづくりを効果的に推進し、もって地域社会の発展に寄与することを目的に結成された当委員会は、平成20年10月3日、参加団体代表によって規約の承認がなされ正式に発足しました。

今後、住民の皆様のご理解とご協力を得ながら、洞戸づくりを担う中心的な組織として、地域住民による手づくりの様々な事業を展開し地域振興を図って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈役員〉

委員長 後藤信幸（関市社会教育委員）
副委員長 武藤道彦（関市洞戸地域審議会）
船戸 徹（NPO法人キウイススポーツクラブ）
事務局長 後藤 徹（NPO法人洞戸村ふるさと塾）
監 事 林 滋盛（洞戸地区青少年健全育成協議会）
志水勝美（関市西商工会洞戸担当）

〈会員要件〉

目的に賛同する団体の構成員から代表として選出された者、および、まちづくりに意欲のある個人をもって構成する。また、新規に加入する場合には役員会の承認をその要件とする。

〈現在の参加団体ほか〉

（順不同）

関市自治会連合会洞戸支部・関市洞戸地域審議会・関市文化協会洞戸支部・関市社会福祉協議会洞戸支部・関市老人クラブ連合会洞戸支部・洞戸地区青少年健全育成協議会・放課後子どもふれあいクラブ・関市洞戸中学校PTA・関市洞戸小学校PTA・関市西商工会洞戸担当・板取川上流漁業協同組合・中濃森林組合・めぐみの農業協同組合・関市シルバー人材センター洞戸支所・ほらどまちづくり計画策定委員会・NPO法人キウイススポーツクラブ・NPO法人洞戸村ふるさと塾・関市社会教育委員・関市体育指導委員洞戸担当者

♪ ユキヒロ・スクールコンサート を終えて

NPO法人洞戸村ふるさと塾 塾生M

功のうちに終わることができました。ありがとうございました。ユキヒロさんは「HEIWAの鐘」や「今日から明日へ」などの曲を、予定時間を大幅に超えて熱唱され、生徒たちもものすごい盛り上がりでした。

こんなに素晴らしいコンサートになったのは、なんといってもユキヒロさんの人柄が素晴らしいからだと思います。あんなに素晴らしい人だからあんなに素晴らしい歌を作ることができるんだと思いました。生徒からは「私ももっと自分をスキになりたい」という声がたくさん聞かれました。こんなコメントを読むと本当に嬉しくなります。先生や保護者からも、「子どもに伝えたいと思っていたことを代わって伝えてもらった」というような声がありました。

コンサートが終わった後の食事会もたいへん楽しく、盛り上がりしました。ユキヒロさんからは、沖縄の言葉を幾つか教えていただきました。「イチャリバ チョーデー」とは「行きあえば兄弟」という意味で、人との出会いを大切にしている沖縄の人たちの知恵を現しているのだそうです。「チムグルサン＝肝（きも）苦しい」とは「かわいそう」という意味だそうです。沖縄では、「かわいそう」という気持ちを、同情として表すのではなく、人の痛みを自分の痛みとして感じながら「自分の肝が苦しくなった」と表現するのだそうです。洞戸の人々の心の優しさにも通じる言葉だと思いました。

洞戸の人々とユキヒロさんがすっかり意気投合し、今年10月17日（土）に“ピースベルフェスティバル in Horado”を開催することが決まってしまうしました。今年もユキヒロさんに会えます。それまでに自分や、自分の住んでいる地域をもっともっとスキでいられるよう、自分を磨いていきたいなあと었습니다。

ユキヒロさん、本当にありがとうございました。

昨年11月1日（土）に洞戸中学校の文化祭に併せて開催された洞戸村ふるさと塾主催の『ユキヒロ・スクールコンサート』は洞戸中学校の先生方、生徒の皆さん、そしてPTA役員のご協力を得て、大成



新年から始めよう パソコンの運転

インターネット時代に入り、パソコンの操作はクルマの運転にもまして、生活に欠かせなくなってきました。どんなものか知りたいと思いませんか。

なんだか怖くて触れないというあなたも、クルマのようにしっかり運転技術を学べば、パソコンの運転が可能です。教習場は、あなたの身近にあります。

この先進のクルマを利用すれば、自宅に居ながらにして、世界中を飛び回ったり、色々な活動が可能になります。ネットサロンへ是非お出かけください。

洞戸ネットサロン情報（1～3月）

〈場所：洞戸生涯学習センター内〉

ネットサロンは誰でも自由に訪れて、無料でパソコンやインターネットを試せて学べます。パソコンの操作を手助けするスタッフが常駐していますので、安心して設置されたパソコンを操作していただけます。

◎午後の開室：午後1時～4時 ◎夜間の開室：午後7時～9時

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□ = 午後のみ開室

■ = 午後と夜間開室

□ = 夜間のみ開室日

○ = 講座日

□ = 休室日

講座のご紹介（ゼミ講座は午後1時30分～3時30分、他の講座は午後7時～9時の開講です）

パソコンゼミ講座 500円/回
（毎週、同じ講師から継続して指導を受けられます）

ネット活用講座 無料
（県ソフトピアジャパン連携）

グループ講座 500円/回

出前講座・出張講座
1,000円/時間（目安）

・火曜日：パソコン入門ゼミ
・水曜日：スキルアップゼミ
・木曜日：Word・Excelゼミ

・懸賞 + ゲーム編

・ネット検定 + 求人、転職編

・仲間を集めて知りたい、学びたい内容のリクエスト講座
5名以上で目的に応じた講座を開設します。金曜夜

・ご自宅や会場に出向いて、講習や不具合の修復をします

〈受講生募集中〉

講座内容は、受講生のスキルに応じて変更も可能です。

1月23日（金）

2月6日（金）

お問い合わせ・お申し込み先 洞戸ネットサロン <http://www.horado.com/netsalon/>
TEL0581-58-2115（洞戸学習センター内洞戸教育事務所 月曜日は休館）

K-S-Cアルバム

2008年10月～12月の活動を紹介します。

【10月】



太極拳講座

10/3～31（5回）
17名参加 小学校体育館



子どもテニス教室

9/27～11/1（5回）
25名参加 大野テニスコート



【11月】

パターゴルフ大会

11/3（38名参加）
洞戸運動公園パターゴルフ場



小学生低学年の部

- 1位 北川景脩
- 2位 船戸陽太
- 3位 阿曽浩也

小学生高学年の部

- 1位 武藤雅典
- 2位 松田あゆ
- 3位 渡辺有紀也

ホールインワン賞 鷺見 繭

中学生の部

- 1位 武藤祐衣
- 2位 後藤にち茄
- 3位 正治 健

ホールインワン賞 後藤にち茄

海釣り大会

10/12（19名参加）
福井県三方郡美浜町日向湖



スポ少体力測定

11/3（25名参加）
洞戸運動公園陸上競技場



☆スポ少清掃活動 11/23 マラソンコース上の清掃活動 スポ少50名参加

【12月】



スケート教室
12／1（32名参加）
サンピア岐阜スケートリンク

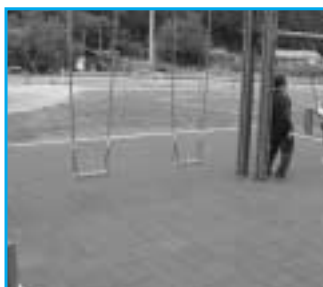


公園施設の改修

洞戸運動公園内のブランコ・鉄棒の下地部分は、今までどちらもコンクリート張りで危険な状態で供用を続けていましたが、このたびラバー製の下地に改修しました。これで落下事故の際の受傷を少しでも軽減できるものと思います。

また、駐車場と公園をつなぐ橋の前後も石畳（コンクリート製）でしたが、濡れているときなどは滑りやすいとのこと指摘があり、こちらも一部をラバー製のものに取り替えました。

過日、芝生公園の小山を貫通するヒューム管の上から飛び降り、ケガをされた方がありましたので、危険予防のため柵が施してあります。（右端写真）ヒューム管の上には上らないようにお願いします。



トピックス

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」ボランティア登録

イオン全従業員が地域への社会貢献活動を行う「イオン・デー」（毎月11日開催）に、地域で活躍されている「ボランティア団体」などに対して、イオンがその活動に役立つよう物品をもって助成するものです。

『NPO法人キウイススポーツクラブ』は、10月より「イオン関・マーゴ店」に登録を承認されました。（スポーツを通した子どもの育成活動など、子どもの健康と安全の増進を図る活動の分野にて）

毎月11日の「イオン・デー」にイオンで買い物をすると、黄色いレシートがもらえるので、お店に設置された専用の投函ボックスの『NPOキウイススポーツクラブ』のボックスにレシートを投函して下さい。投函されたレシート金額の1%を希望する商品に変えてイオンから寄贈していただけます。会員のために有意義に使わせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

支部社協合同視察研修を開催

尾関昭子

昨年11月20日、朝起きると山は雪景色でした。午前6時半に集合し、バスに乗り込み予定通り10時半ごろには静岡県掛川市にある『ねむの木学園』に到着しました。

ねむの木学園は、10年程前までは海岸沿いにあったそうですが、今は山の中腹にあり、木々に囲まれとても静かな所で、紅葉もきれいでした。ピンク色の屋根に淡い水色の壁の建物がいくつもあり、壁にはとてもかわい絵が描かれてあり、ここは時間がゆっくり流れているような気がしました。

学園には肢体不自由、精神に遅れを持ち、自宅で家族がめんどうみることができない子たちが暮らしています。建物の中央には広い部屋があり、数人が並んで朝の健康診断を受けていました。私たちが窓からのぞくと近くにいた2人の子が近寄ってきて、とても楽しそうに私たちに微笑みかけてくれました。

幼稚園くらいの子から高校生まで一緒に暮らしていて、年上の子が年下の子を自然にめんどうみている姿、一人でころげまわっている子、じっと座っている子、さまざまでしたが、その子達をみてかわいそうというより、この学園に来て、大きな家族の中で暮らせて幸せだと思いました。

学園には、絵画・工芸・音楽・茶道などのクラブがあり、子どもたちは感性、感受性を大切に自由に作品をつくり上げています。

近くにある「ねむの木美術館」に行き、作品を見てきました。特に絵画にはとても感動しました。抽象的な絵が多いのですが、目で見て感じたものをしっかりとした色調で描いてあり、引き込まれるようでした。かわいい女の子・男の子が描かれ、その背景の細かさ、色合いのきれいさは何かが心に深く入り込んでくるような、奥の方で暖かく、優しくなるような絵でした。他に、マフラーなど手芸品もとても上手に柔らかく優しく編んでありました。美術館の他にも喫茶店や雑貨屋さん、ガラス屋さんなどがあり、生徒が実習しているそうです。この学園にはいじめや登校拒否などまったくないのだらうと思います。

その後、秋葉総本殿可睡斎に参拝し、火の災難に遭わぬようお願いし、お札を受けて帰路に。寒い一日でしたが、とても心も体も温まる研修でした。



支部社協へ

ご寄附をいただきました

平成20年11月29日（土）に、臨済宗妙心寺派岐阜西教区11部花園会の皆様、洞戸地内を托鉢に歩かれました。

多くの皆さんから寄せられた温かい浄財**210,062円**を洞戸支部社協の歳末助け合いにご寄附いただきました。誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。地域福祉事業に有効に活用させていただきます。合掌

社協・洞戸支部 ミニ集会 を開催

昨年11月23日（日）に、菅谷地区の皆様のご協力により上菅谷集会場におきましてミニ集会を開催致しました。

当日は、第3回「ほらど健康ウォーキング」が開催され、当支部の武藤支部長も参加させていただきました。

ウォーキング終了後、健康のありがたさを実感された皆様方多数のご参加により午前10時30分から約1時間のミニ集会を開催しました。

支部社協からは社会福祉協議会の主な事業の説明をさせていただきました。

フリー討議では、高齢化が進む中で高齢者が地域社会（菅谷地区）に如何に関わっていけばよいのか、また、高齢者同士のコミュニケーションの場作りについて話し合いがなされました。

当日集会に出向いていただきました洞戸健康センターからは、健康診断の受診方法が今年度から変わったことなどの説明がありました。参加いただきました皆様、ありがとうございました。

～いきいきサロンだより～

三友クラブ（小瀬見・高見・阿部）

ハッピーサロン（高賀）

合同バス旅行

五感推進委員・梶田博之



恒例となったこの行事も今回で6回目となった。一年1回のこのバス旅行をメンバーの皆さんが一番の楽しみにしている。11月13日（木）は、前日までの雨も上がり、雲ひとつなく風もない、この秋一番の行楽日和。

18名を乗せたバスは、郡上八幡・和良町を経て岩屋ダムの紅葉狩りへと進む。ダムの両岸何キロにもおよぶ「もみじ」は紅葉真盛り。車窓越しに見る「もみじ」にきれい／＼きれい／＼を何回も連発して、バスは一路山坂の巖立峡へと。御嶽山が噴火したときに出来たと言われるこの奇岩にも皆さん感激して、ここで記念撮影を一枚パチリ。

ひめしゃがの湯は昔、湯治場として名を馳せたというだけあって、湯から上がってきた皆さん、一層元気になった様子。

レストランで食事後、この日お目当ての影絵の観劇会です。テレビでもおなじみに「かかし座」が下呂で公演していました。演目は、「しらさぎ伝説」と「お美津キツネ」。これはいずれも下呂地方に伝わる昔話です。繊細はデザインと柔らかな色調の現代影絵は不思議な別世界に誘われ、子どもの頃へと

タイムスリップしたひとときを過ごすことができ、全員初めての体験で強い感銘を受けました。

帰りのバスの中では、クイズで頭を使い、童謡を歌ってリラックスした気持ちになり、一日楽しく過ごせました。NPO法人洞戸村ふるさと塾のご協力にお礼を言って、それぞれ無事家路につきました。

下菅谷げんき会

世話役・林 喜代美



昨年11月の行事は「押し花作り」を計画し、22日（土）午後1時から下菅谷集会所にて実施しました。

今回はミニの額縁入りにするため、材料の注文の関係で参加者の人数を確認（16名）のうえ、押し花クラブに注文する。

講師は、井上清子さんほか3名に来ていただいて教えていただきました。

まず材料の額縁、台紙、押し花セットを全員に配布して始めました。

お正月に近いこともあって台紙には、羽子板があしらってあり、講師の説明を聞きながら、手伝っていただきながら、思い思いに花を並べました。細かい作業なのでなかなか難しい…、でも熱心に手を動かし、図柄が決まったところで講師に仕上げをしていただきました。それぞれの額縁に入れて完成。あとはお茶とお菓子で茶話会、午後3時に解散。

上菅谷の「まめな会」が解散されましたので、10月から声をかけて一部の方に参加していただいております。

友愛訪問事業

民生委員、福祉委員の方に11月末から12月初旬に友愛訪問をしていただきました。

◇対象者 75歳以上の一人暮らしの方 寝たきりの方
高齢世帯の方 総人数97名

それぞれの家庭に、ティッシュペーパー 5箱と葛湯 2袋を、見守りを兼ねて配布していただきました。

お知らせ

◆配食サービス 2月（予定）

◆フレアイイキイキサロン交流会
福祉センターにて
2月25日（予定）

市政だより (2)



関市議会議員 林 修 美

関市の工業

関市は、歴史と伝統を持つ日本を代表する全国一の刃物産地であります。関の刀は「折れず、曲がらず、よく切れる」と優れた実用性を誇る名刀として、多くの武将に愛用されてきましたが、時代の流れとともに、刀の需要が低下し、包丁、小刀、ハサミ等の打刃物鍛冶に転向し、そして現在では台所・食卓用刃物、包丁、ハサミ、ポケットナイフ、カミソリ、ツメキリ等多品種にわたり生産し、その33%（109億円）をアメリカ、ドイツ、イギリス、韓国、オランダ等に輸出する世界的刃物産地でもあります。

平成19年の刃物製造出荷額は約329億円で（前年比3.6%減）、市の全製造品出荷額3,272億円の（前年比4.2%増）約10%を占めております。

増加したのは、関テクノハイランドに進出した各企業の操業開始によるもので、主に自動車関連、航空機器の金属部品始め、金型やメッキ等関連業種の受注増によるものです。

洞戸から通勤可能な工業団地

現在関市内の従業員4人以上の工業所は662あり、従業員数は15,675人ですが、主な工業団地としては、下表のとおりです。

特に平成16年に完成した関テクノハイランドは、東海北陸自動車道と、平成17年に開通した東海環状自動車道との結集地点という立地条件により、12社の進出が決まり、今後「先端技術型生産拠点」としての発展とともに、雇用面も含めて経済の活性化にも寄与されることが期待されております。

現在洞戸地域の人口は、約2,200人730世帯、この内65歳以上の独居老人89戸、一方老夫婦世帯が69戸、合計しますと158戸その割合は21%、約5戸に1戸が独居、あるいは老夫婦なのです。

全国的でもありますが、特に山間地域は少子高齢化の傾向にあり、関市内の工業団地は、洞戸地域からも30分以内と通勤可能な地にあり、今後若者の定住による人口増と、地域の活性化の一助となることを大いに期待するものです。

工業団地名	所在地	企業数	出荷額(億円)
関連合刃物(協)	肥田瀬	18	約48
関金型工業団地	倉知	15	約19
小瀬工業団地	小瀬	18	約19
千疋工業団地	千疋	4(うち商社1)	約42
屋太工業団地	下有知	18	約64
		10	
関工業団地	新迫間	15	約676
関テクノハイランド	のぞみヶ丘	12	約192

編集後記

▶物事を継続させるには「みっか、みつき、さんねん」という言葉があります。

どんなことも三日続けてみれば次に進める気がしてくる、三ヶ月、三年とその都度、節目が来るようです。それとはちょっと違いますが、この広報も「3」号を迎えました。これも地域の方々のご理解あってのことと感謝しています。今後は、この号にも掲載しましたが、『洞戸まちづくり委員会』が発足しましたので、そちらの方へと移していければ、もっと長く継続していけるのではと考えています。(f)

帰ってきた広報ほらど 第3号

平成21年1月1日

帰ってきた広報ほらど 製作委員会

- 関市社会福祉協議会洞戸支部
- NPO法人洞戸村ふるさと塾
- NPO法人キウイススポーツクラブ

事務局 NPO法人キウイススポーツクラブ
TEL・FAX 58-8686